

①益田高等学校が、林業学習を実施しました！

令和6年10月8日(火)に、益田高等学校の1年生12名が林業学習を行いました。午前中は高津川森林組合で林業や森林施業に関する講座を受けました。講義の中では高津川森林組合が実施する再生林への仕組みや森林整備の内容やICTやドローン活用について学びました。講義の後、生徒たちは実際にドローンを飛ばし、手元の画面でどう見えるかなどお互いで話しながら体験していました。

午後には(株)伸和産業の本社工場に移動し、まずそこでチップ機の仕組みについて説明を受けた後、実際に材が投入される様子からチップが出てくる場所まで見学しました。

その後、臨空ファクトリーパークへ移動し、工場の見学をした後に若者に魅力ある職場づくりと題した講義を受けました。

参加した生徒は林業に関して興味関心を高めてもらえたと思います。



林業に関する講義の様子



チップ工場の様子

②益田翔陽高等学校が、林業カフェを実施しました！

令和6年10月17日(木)に益田翔陽高校1年生35名が、林業カフェを行いました。林業カフェでは、高津川森林組合、伸共木材協同組合、株式会社美都森林から合計6名の林業の現場で活躍する方を講師にお招きし、意見交換会とチェーンソー体験を実施しました。

意見交換会では、講師の方から林業を選んだ理由、実際の出勤時間やライフスタイルなどの話があり、まだ将来の決まっていない生徒も多く、進路選択の話は生徒も興味深そうに聞いていました。

チェーンソー体験では初めてチェーンソーを操作する生徒も講師を手本にして物怖じすることなく取り組んでおり、体験後は「緊張したが、おもしろかった」という意見が聞こえました。

これまで林業に馴染みのなかった生徒が多かったと思いますが、この機会に興味関心を持ってもらえたらと思います。



意見交換会の様子



チェーンソー体験の様子

③益田翔陽高等学校が、林業学習(製材工場見学)を実施しました！

令和6年10月24日(木)に益田翔陽高校の総合学科の3年生13名が高校生の林業学習の一環として、(株)佐々木馬一商店豊川工場の見学を行いました。

学校で木造建築に関する簡単な講義を受けた後、生徒はバスで(株)佐々木馬一商店豊川工場へ移動しました。

まず、豊川工場では会社概要や会社がどのような製品を作っているかなどを(株)佐々木馬一商店の方から説明いただきました。その後、工場内の乾燥機やボイラー、製材ラインを見学しました。

参加した生徒は初めてみる工場の機械やさん積みされた木材を賑やかに見学していました。

今回林業学習を行った生徒たちは、7月に林業カフェで林業やチェーンソー体験をしており、2回目の林業学習になります。11月には自分たちで木材を使用する学習を予定しています。今後も本学習を通して、林業木材産業への興味をもってもらえるよう努めていきます。



製材工場見学の様子

④益田翔陽高等学校が、現場での林業学習を実施しました！

令和6年10月31日(木)に益田翔陽高校の2年生14名が現地での林業学習を行いました。午前中は(有)石州造林を講師として、津和野町中座の伐採現場で、ハーベスタの操作体験とチェーンソーによる丸太切り体験を行いました。

本授業に参加した生徒は8月にもチェーンソー体験を行っており、落ち着いた様子で丸太切りを行っていました。

午後からは、益田県土整備事務所の方から治山林道の講座を受けた後、津和野町内の林道工事現場へ移動しました。

生徒たちは 昨年を含めると本学習で3回目の林業学習となります。中には林業へ就職することに興味を持った生徒もあり、今回の学習を含めて、生徒の興味関心を高めることができたと思います。



伐採現場のチェーンソー体験



林道工事現場の体験